

# 第4回飼料用米利活用シンポジウム開催のご案内

参加費  
無料

## 飼料用米の利活用拡大で 日本の農畜産業の明日を創ろう！

2011年の飼料用米の作付面積は3万ヘクタールを超え、わずか5年間で300倍以上にまで急速に拡大しております。

シンポジウムは、急増する飼料用米について、各地の取組み事例を紹介することにより、飼料用米の利活用の定着・拡大を図るとともに関係者の皆様の実践交流を行なう場です。

併せて今回は、東日本大震災後の原子力発電所事故により、飼料用米を含めた農産物の放射性物質による汚染に対する不安が高まっていることから、放射性物質と農産物の安全性についても議論します。

白いスポンジケーキや牛乳の  
試食・試飲を行ないます

日時 : 2012年3月14日(水) 11:00~16:30

場所 : 新宿区立牛込笹笥区民ホール

(地下鉄都営大江戸線牛込神楽坂駅隣)

### 牛込笹笥区民ホール



定員  
400名

主催: 全国飼料増産協議会  
(社)日本草地畜産種子協会  
協力: 超多収穫米普及連絡会  
後援: 農林水産省

交通案内 (地下鉄) 大江戸線「牛込神楽坂」A1出口より徒歩0分  
東西線「神楽坂」2番出口より徒歩10分  
(都バス) 飯62系統 小滝橋車庫前～都営飯田橋駅 または  
橋63系統 小滝橋車庫前～新橋駅「牛込北町」下車  
住所 新宿区笹笥町15番地

参加のお申込みは  
裏面へ

# 飼料用米利活用シンポジウム 開催内容

## 展示と試食

展示 11時～ 飼料用米の取組み事例・研究成果のパネル展示

試食 12時～12時45分 飼料用米を給与した畜産物の試食

シンポジウム 13時～16時30分

## 講演

「飼料米の生産利用をめぐる情勢と原発事故への対応について」

農林水産省 生産局 畜産部 小宮 英稔 氏

「放射能汚染から食の安全を確保する活動」

日本生協連 品質保証本部 本部長 内堀 伸健 氏

## 事例発表

座長 東京農業大学 准教授 信岡 誠治 氏

生産事例 「多収穫米の栽培実績とコンタミ問題を解決している耕畜連携活動」

岩手県 八幡平農業改良普及センター 門間 剛 氏

利用事例 「豚のエサからソーセージまで、自給へのこだわり」

岐阜県 菖蒲谷牧場 山川 忠一郎 氏

普及事例 「飼料用米利用畜産物の普及拡大への取組み」

北海道 コープさっぽろ専務理事 山口 敏文 氏

## 総合討論

### 飼料米給与畜産物の一例



白いロールケーキ  
(創菓工房松屋 栃木県)



手作りウインナー  
(菖蒲谷牧場 岐阜県)



牛の枝肉  
(滋賀県農業技術センター)

## シンポジウム参加申込書

3月2日(金)必着

必要事項をご記入の上、**03-3251-6515**へFax または、下記に郵送して下さい。

なお、参加申込みいただいた個人情報は、本シンポジウムの運営に係ること以外には使用いたしません。  
また、定員を超過した場合、お断りさせていただくことがあります。お断りの場合のみ電話にて連絡いたします。

郵送受付 全国飼料増産協議会

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番地 アセント神田紺屋町ビル4階

Tel 03-3251-6506

ご所属	お名前	お電話番号